

真空ミキサー

品番：TMV1100

取扱説明書

保証書付き

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に保管してください。

ご購入ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



もくじ



安全上のご注意…………… 1~4
各部のなまえとはたらき …… 5~6



お使いになる前に …… 7~8
ミキサーの使いかた …… 9~16
真空保存の使いかた ……17~21
調理のアドバイス …… 22



お手入れのしかた ……23~26
エラーお知らせについて ……27~28



故障かな?と思ったら …… 29



仕様 …… 29
アフターサービス…………… 30
保証書…………… 裏表紙

愛情点検



●長年ご使用の真空ミキサーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 症状
- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
 - こげくさい臭いがする。
 - 製品の一部に割れ・ゆるみ等がある。
 - その他、異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、電源プラグを抜き、販売店に点検・修理をご相談ください。

〈無料修理規定〉

ご購入日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、ご購入販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参・ご提示の上、ご購入販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - ①使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ②ご購入後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - ③火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
 - ④業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ⑤本書の提示がない場合。
 - ⑥本書におご購入日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前におご購入販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるご購入販売店に修理を依頼されることができない場合は、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ご購入販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」の項をご覧ください。
当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

保証書 持込修理

品番	TMV1100	保証期間	ご購入年月日より 1年間	保証対象	本体
★お客様	ご芳名		★ご購入年月日	年	月 日
	ご住所(〒)		★販売店		
	お電話		住所・店名		
				電話	

株式会社 **テスコム** www.tescom-japan.co.jp
本社/東京都品川区西五反田5-5-7 工場/長野県松本市和田4217-1



安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
- 注意事項は次のように区分しています。

⚠危険

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫度合いが高いと想定される内容を示します。

⚠警告

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意

誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。



(左図の場合は分解禁止)



記号は、「しなければならないこと(強制)」の内容をお知らせするものです。



(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)

安全上のご注意

⚠警告



禁止

長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。

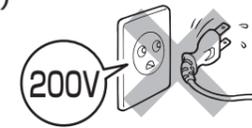
- 使用中、動いたり止まったりする
- 電源コードがねじれて戻らなくなった
- 電源コードの根元部分が変形・傷んでいる
- コンセントの差し込みがゆるい



火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。

交流100V以外で使わない。
(日本国内専用)

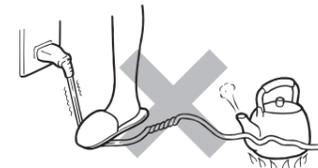
発火する恐れがあります。



電源コードは下記のように扱わない。

- 無理に曲げない
- ねじらない
- 引っ張らない
- 重いものをのせない
- 熱いものに近付けない
- はさみ込まない
- 加工しない
- 束ねたまま使用しない

火災・感電のおそれがあります。



禁止

子供だけで使わせない。幼児の手の届く所で使わない。

子供や幼児がけがをする恐れがあります。



梱包のポリ袋は乳幼児の手の届く場所に置かない。

頭からかぶるなどをすると口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

電源プラグカバーを幼児の手の届く場所に置かない。

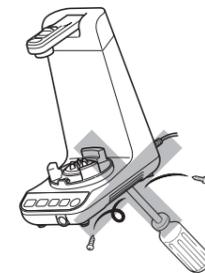
誤飲の恐れがあります。



分解禁止

修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。

発火・感電の恐れがあります。



水場禁止

本体を水につけない。本体に水をかけない。ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



安全上のご注意

⚠️ 注意



必ず守る

1回使用するごとに、各フタ部のお手入れをする。(23~26ページ参照)

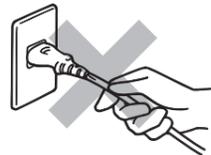
本製品が故障する恐れがあります。

電源が切れていることを確認してから、電源プラグを抜き差しする。

けがをする恐れがあります。

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。

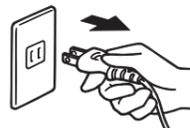
電源プラグを傷める恐れがあります。



電源プラグを抜く

使用後やお手入れをするときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがをする恐れがあります。



禁止

カッターは鋭利なので直接手で触れない。

けがをする恐れがあります。



ミキサーボトルの中に指・金属製のスプーンなどを入れない。

けが・故障の恐れがあります。



禁止

安全スイッチ・安全スイッチピンを直接、指・棒などで絶対に押さない。

けが・故障の恐れがあります。



フタをしたボトル部を取り付けていない状態で、真空アームを上から押さない。

故障・事故の恐れがあります。



動作中に移動させない。

けがをする恐れがあります。



不安定な所では使わない。

けがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。



禁止

40℃以上の材料は各ボトルに入れない。

ボトルが割れてけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。



材料が多すぎたり、その他の原因で動作が止まったときは、そのままの状態を使わない。

本製品が破損する恐れがあります。



空回ししない。最少量より少ない材料で使わない。

本製品が破損する恐れがあります。



最大目盛りを超える量の材料を入れない。

〈定格容量〉
ミキサーボトル：12ページ参照
スムージーボトル：19ページ参照

本製品が故障する恐れがあります。

調理以外の目的では使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

本製品は家庭用なので、業務用として使わない。

安全上のご注意



禁止

使えない材料を入れない。(11ページ参照)

本製品が破損する恐れがあります。

食器洗浄機・食器乾燥機は使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

定格時間を超えて連続運転しない。(次の動作まで指定の時間以上休ませる)(29ページ参照)

本製品が故障する恐れがあります。

専用のボトル・部品以外は使用しない。

真空ミキサー機能で調理したもの以外を真空保存しない。

本製品が故障する恐れがあります。



必ず守る

スムージーボトルで真空保存するときは、必ず冷蔵庫で保存する。冷凍庫に入れて保存しない。

殺菌作用はありません。保存には十分注意してください。

※安全上のご注意のイラストは実際の商品とは異なります。

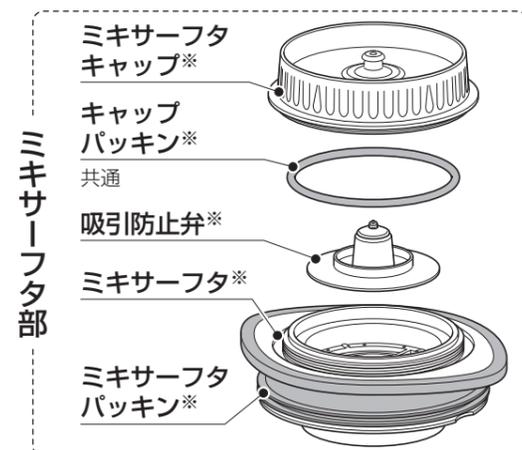


各部のなまえとはたらき

はじめに、すべての部品・付属品が揃っていることを確かめください。
パッキンなどは取り付けられています。(各部の取り外しかた 24ページ参照)

ミキサーボトル部

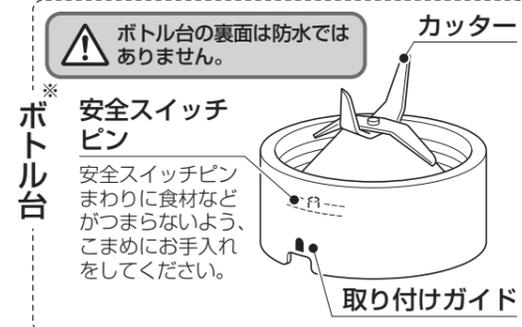
スムージー・スープ作りや、氷を砕くときに使います。(9~16ページ参照)



ミキサーボトル※
最大量・最小量を守ってください。(12ページ参照)

※耐熱ガラスではありません。

ミキサーボトル パッキン※

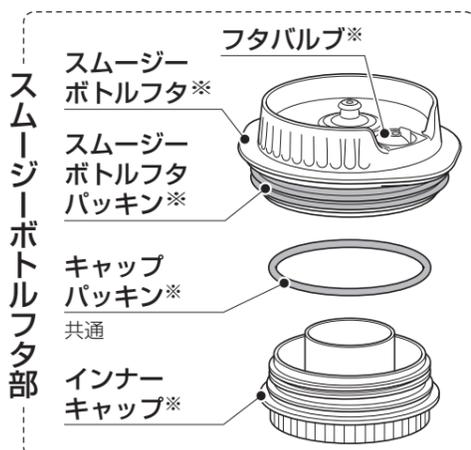


※
ボトル台

取り付けガイド

スムージーボトル部

本製品で作ったスムージーなどの保存に使います。(17~21ページ参照)



スムージーボトル※
最大量を守ってください。(19ページ参照)

※耐熱容器ではありません。

ヘラつきブラシ※

材料を取り出したり、お手入れをするときに使います。

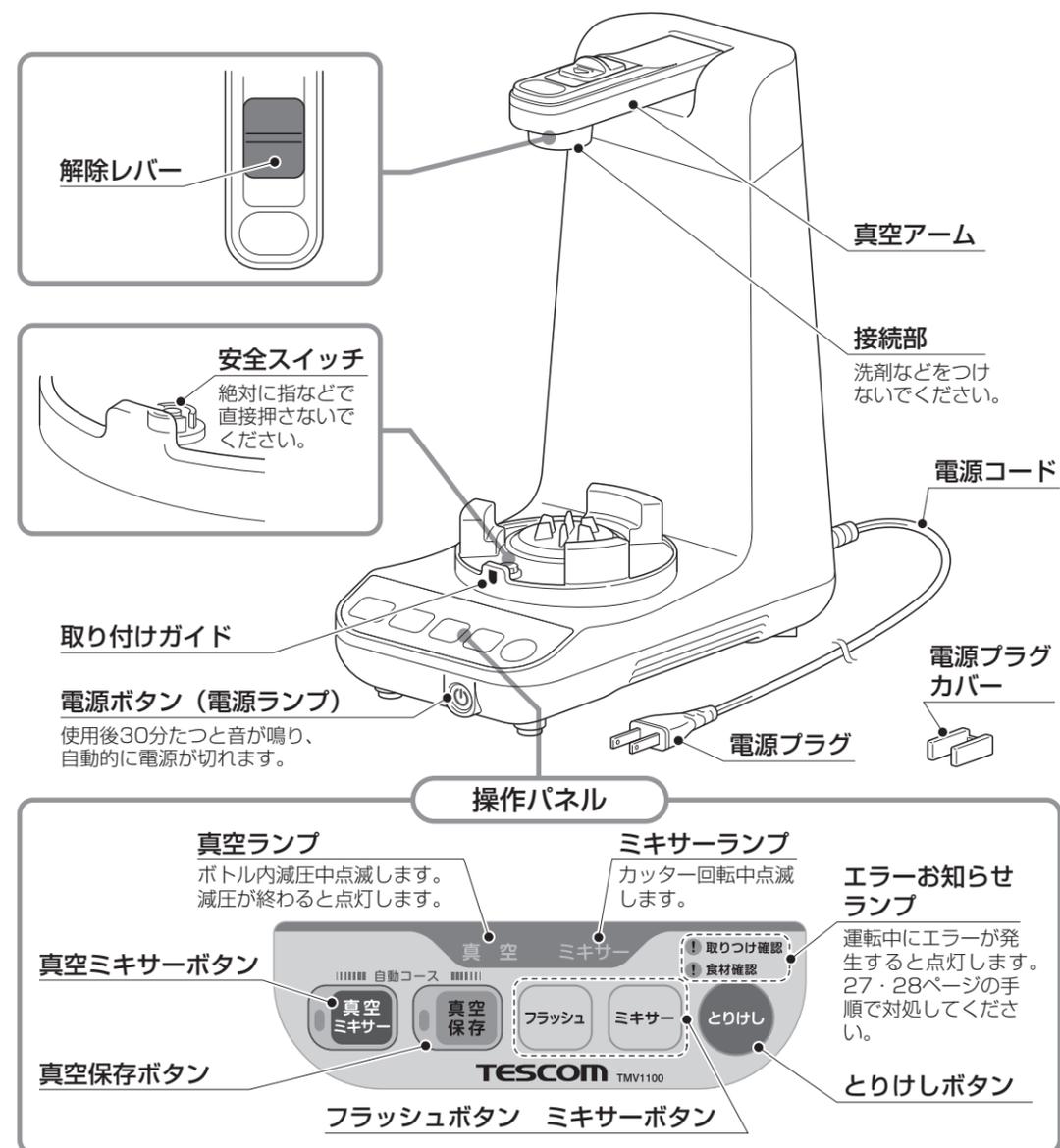


各部のなまえとはたらき

「※」の付いた部品・付属品はお取り寄せできます。お買い上げ販売店、または弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。(30ページ参照)

ホームページでもお問い合わせいただけます。 <http://www.tescom-japan.co.jp/support/>

本体



レシピブック※

本製品を使用して作ることができるスムージー・スープのメニューを紹介しています。
※記載された手順・分量を守ってください。

製品および部品の仕様は、予告なく変更する場合があります。



お使いになる前に

真空ミキサーについて

従来のミキサーでは、材料の攪拌（かくはん）時に空気が多く混入し、作ったスムージー※などが酸化していました。

これに対し、真空ミキサーでは、材料の攪拌（かくはん）前に空気を抜くことで初期酸化を抑え、酸化の進行を遅らせることができます。

また、真空ミキサー機能で作ったものを真空保存することで、酸化を抑えて新鮮さを維持することができます。（真空保存に滅菌作用はありませんので、冷蔵庫で保管の上できるだけ早くお飲みください。）

※くだものや野菜を絞らずに攪拌（かくはん）して作ったものをスムージーとしています。

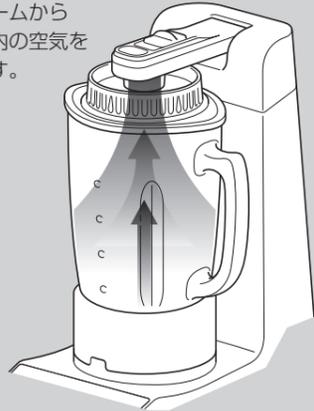
真空ミキサー

真空ミキサーボタンを押すと、フラッシュ（1回）で材料をならしたあと、ボトル内を減圧して真空状態にし、調理を自動でおこなない停止します。

フラッシュ（1回）

ボトル内減圧

真空アームからボトル内の空気を吸います。



攪拌（かくはん）
フラッシュ（5回）
ミキサー運転（1分間）

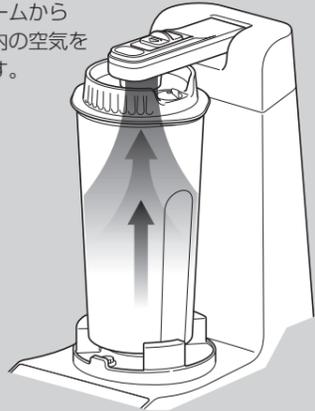
自動停止

真空保存

真空保存ボタンを押すと、ボトル内を減圧して真空状態にし、自動で停止します。

ボトル内減圧

真空アームからボトル内の空気を吸います。



自動停止

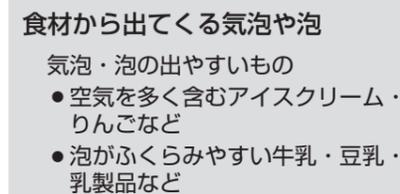
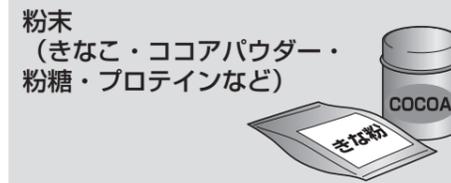
お使いになる前に

※真空：大気圧より低い圧力の状態。

ご注意

空気と一緒に異物が本体に吸い込まれると、故障する原因となります。下の内容を守ってお使いください。

異物吸引の原因



故障を防ぐには

●ミキサー機能で調理するか、完全に溶かしてから入れてください。詳しくは22ページ参照。

●食材は40℃以下に冷ましてから入れてください。（各ボトルが破損する恐れもあります。）

●各フタ部は1回使うことにお手入れをし、よく水気をふき取ってから組み立ててください。

①12・19ページにあるボトルの最大量を確認し、容量を守ってお使いください。
②スムージーボトルにうつすときに泡立たないように静かに注いでください。

ボトル内を減圧すると、材料に含まれている空気が泡になって上がってきたり、泡立つことがあります。

最大量（12・19ページ参照）以下であればほとんど問題はありますが、万一減圧中に泡がフタに届きそうになったときは、すぐにとりけしボタンを押して中止してください。

調理途中の材料は、ミキサー機能を使って調理してください。（16ページ参照）



ミキサーの使いかた

初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前に本体以外の部品を洗ってからお使いください。(23~26ページ参照)

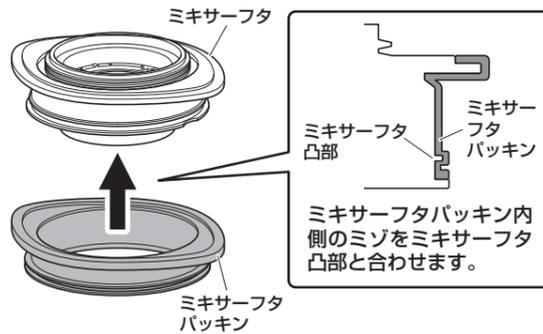
ミキサーボトル部の組み立てかた

ご注意

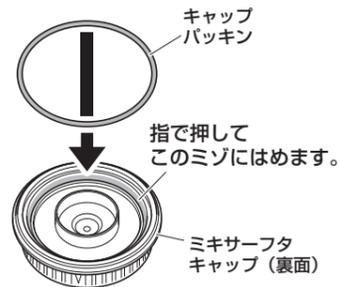
- お手入れをし、水気をよくふき取ってから組み立てる。食材などがはさまっていると、エラーの原因となります。
- ボトル台のカッターに直接手を触れない。けがをする恐れがあります。
- 各部を正しく取り付ける。故障・エラー・材料がもれる原因となります。
- ミキサーボトルとボトル台/ミキサーボトルとミキサーフタの間にすき間ができないよう、しっかり取り付ける。

1 ミキサーフタ部を組み立てる。

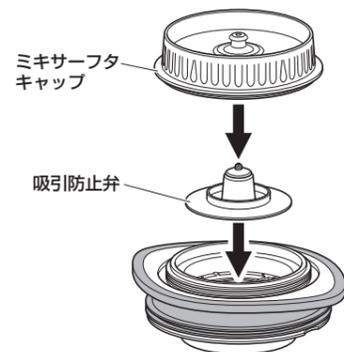
①ミキサーフタにミキサーフタパッキンを取り付ける。



②ミキサーフタキャップにキャップパッキンを取り付ける。

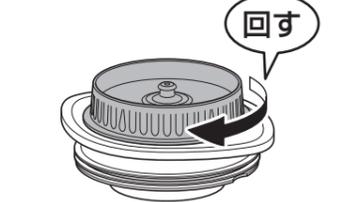


③ミキサーフタの中央に吸引防止弁を置き、上からミキサーフタキャップをはめる。



! 吸引防止弁を必ず付ける。
取り付けを忘れると製品が故障します。

④ミキサーフタキャップを図の矢印の方向に回して取り付ける。

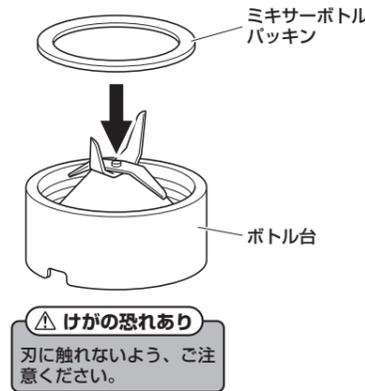


Point
止まるまでしっかり回す。

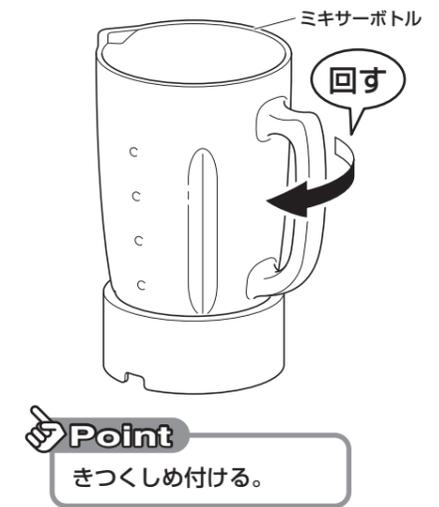
ミキサーの使いかた

2 ミキサーボトルをボトル台に取り付ける。

①ボトル台内側のミゾにミキサーボトルパッキンをはめる。

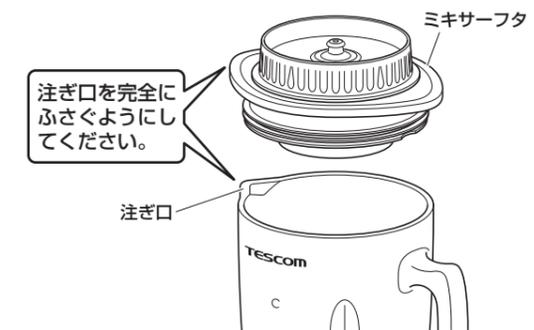


②ミキサーボトルをボトル台にはめ、図の矢印の方向に回して取り付ける。



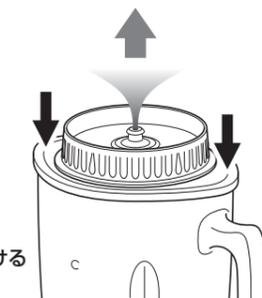
3 ミキサーボトルに材料を入れ、ミキサーフタをする。

①ミキサーボトルとミキサーフタの形を合わせる。



②ミキサーフタ部をミキサーボトルにはめる。

Point
ミキサーフタが斜めにならないよう両端を平均に押す。



※中央の穴からボトル内の空気が抜けるので、穴をふさがらないでください。

ミキサーの使いかた

使えない材料（故障の原因）

- ★40℃以上の材料
- ★肉・魚類
- ★小麦粉などの粉類

- ★固いもの・乾燥したもの
 - ・冷凍食品（くだもの以外）
 - ・市販の氷
 - ・かつお節/乾燥大豆
 - ・ドライフルーツ など

- ★ねばりけの強いもの
 - ・ゆでた小豆
 - ・とろろいも など
- ★粉末（8ページ参照）
 - ※真空ミキサー機能を使う場合です。

ミキサーは材料をきざむ・水分の少ないものをまぜる・こねる・ペーストを作るといった用途（ハンバーグ・ギョーザのタネ、流動食作りなど）には使えません。故障の原因となります。

また、食材の組み合わせや水分量によっては、故障を防ぐために運転が途中で止まることがあります。そのときは、27～28ページの手順で対処してください。

その他、付属のレシピブックや22ページ「調理のアドバイス」を参考にお使いください。

※材料についてご不明なときは「テスコムお客様ご相談窓口」にご相談ください。（30ページ参照）

材料の下ごしらえ

★くだもの

皮の厚いものは皮をむき、芯・種を取って2cm角に切る。
バナナは2cm幅の輪切りにする。



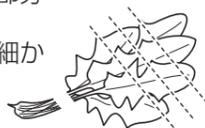
★にんじんなどの固いもの

皮をむき、厚さ2～3mmにスライスする。
大きいものはさらに2cm幅に切る。



★ほうれん草などの葉もの

茎を切り落とし、葉の部分を2cm幅に切る。
多く入れたいときは、細かめにきざむ。



★かんきつ類

皮をむき小房に分け、種を取る。



★温かい材料

40℃以下に冷ます。



★氷

家庭用製氷皿で作った2.5cm角程度の大きさの氷を用意する。
※一度に使えるのは6個までです。

ミキサーの使いかた

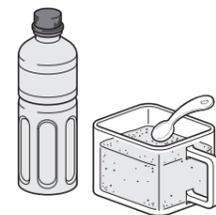
材料の入れかた

液体⇒やわらかいもの⇒固いもの の順にボトルに入れます。
※液体を入れずに調理するときは、22ページを参照してください。

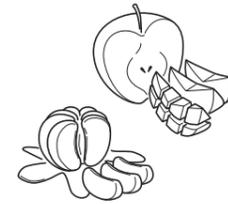


材料を詰め込みすぎない。

①液体、調味料など



②水分の多い材料 やわらかい材料



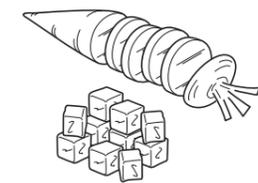
③葉もの

無理に押し込まず
ふんわりと入れて
ください。



④固い材料

水分の少ない材料
はちみつ
氷



ミキサーボトルの容量



泡立ちやすい豆乳・牛乳・乳製品・粉末を溶かした液体を入れて真空ミキサー機能を使うときは、最大量を600mlとする。

泡が本体に吸引され、故障する恐れがあります。

アイスクリームは空気を含んでいて膨張するため、真空ミキサー機能で使用するアイスクリームの量は一度に200mlまでとする。

最大量（780ml）

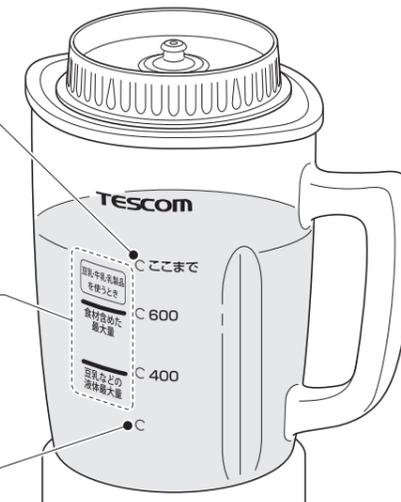
この印を超える量の材料を入れない。

真空ミキサー機能で豆乳・牛乳・乳製品・粉末を溶かした液体を使う場合

- ①牛乳や豆乳などを「豆乳などの液体最大量」を超えないように入れる。
- ②その他の材料を、「食材を含めた最大量」を超えないように入れる。

最少量（200ml）

この印より少ない量で作らない。



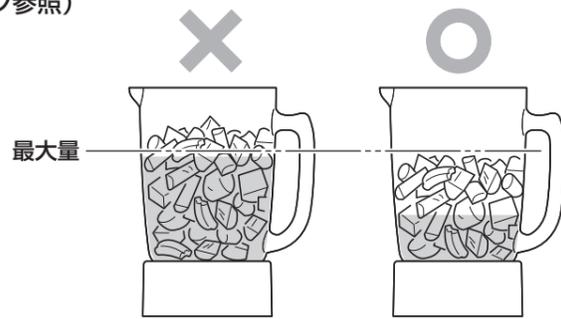
ミキサーの使いかた

真空ミキサー機能の使いかた

ミキサーボトル内を真空※にして酸化を抑えながら調理する自動コースです。

ご注意

- 各部を正しく組み立て、ミキサーフタ部をしっかりとめ。故障・エラーの原因となります。
- 必ずミキサーボトルの最大量（12ページ参照）以下の量で作る。
ボトルを横から見て、線を超えている材料があったら、押し込まずにさいばしなどで取り除いてください。



1 ミキサーボトルに材料を入れ ミキサーフタをする(9・10ページ参照)。

※材料については11・12ページの内容を守ってください。



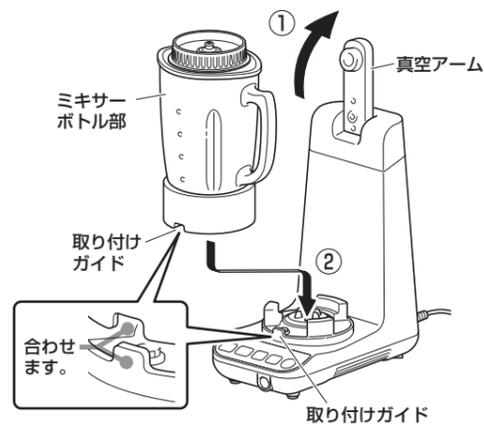
1回使うたびにミキサーフタ部の各部をお手入れし、よく水気をふき取ってから組み立て直して使う。(9・25ページ参照)
食材や水分が付いた状態でくり返し使うと故障の原因となります。

2 本体にセットする。

①真空アームを垂直に立てる。

②取り付けガイドの位置を合わせて、ミキサーボトル部を本体にのせる。

※真空アームにぶつけないよう注意してください。



ミキサーの使いかた

※真空：大気圧より低い圧力の状態。

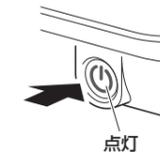
③真空アームを下ろし、手のひらでしっかりと押します。

※カチッと音がして真空アームがミキサーフタにセットされます。



3 電源プラグをコンセントに差し込み、 電源ボタンを押して電源を入れる。

- 「ピッ」と鳴り電源ランプが点灯します。



4 真空ミキサーボタンを押す。

- フラッシュ（1回）→ボトル内減圧→フラッシュ（5回）→ミキサー運転（1分間）を自動でおこない「ピーピーピー」と鳴って停止します。途中で運転を止めるときは、とりけしボタンを押してください。
- 「ビピーッ」とくり返し警告音が鳴り途中で停止したときは、27・28ページの手順で対処してください。



Point

続けて使うときはミキサーボトルフタ部のお手入れも忘れずに。

※万一ミキサーボトル内減圧中に材料が泡立ち、泡がフタに届きそうになったときは、すぐにとりけしボタンを押して止めてください。

途中で運転を止めたときや調理後にさらに混ぜるときは、ミキサー機能（16ページ参照）で調理を続ける。



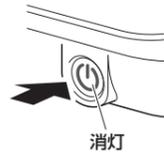
真空ミキサー → 停止 → ミキサー → とりけし

停止後、ミキサーフタに材料などが付いた状態で真空ミキサー機能を使うと故障の原因となります。（故障防止のため、停止後に真空ミキサーボタンを押しても動作しません。）

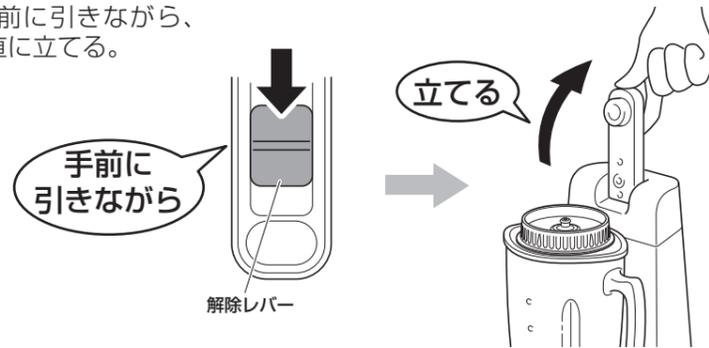
ミキサーの使いかた

5 本体から外す。

- ①回転が完全に止まってから電源ボタンを押して電源を切る。



- ②解除レバーを手前に引きながら、真空アームを垂直に立てる。

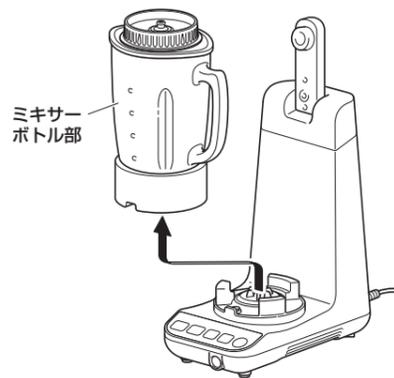


- ③ミキサーボトル部を外す。

※真空アームにぶつけないよう注意してください。

⇒作ったスムージーなどを真空保存するときは19ページへ。

- ミキサーボトルでは保存できません。



- ④使用後は電源プラグをコンセントから抜き、すぐにお手入れする。(23～26ページ参照)

- 続けて使うときはミキサーフタ部をお手入れしてください。
- ボトル内は減圧されているため、フタが外れにくくなっています。テーブルなどの安定したところに置き、しっかりと押さえながらフタを外してください。



ミキサーの使いかた

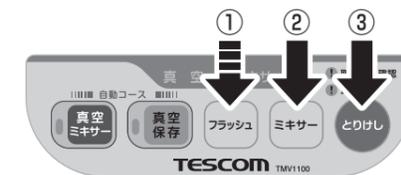
ミキサー機能の使いかた

- 1 ミキサーボトル部を本体にセットし電源を入れる。
(13・14ページ 手順1～3参照)

※材料については11・12ページの内容を守ってください。

- 2 調理する。

- ①フラッシュボタンを1回1秒くらいの長さで数回押す。
- フラッシュボタンを押している間だけカッターが回転します。
- ②材料が混ざり始めたらミキサーボタンを押し、好みの状態になるまで運転させる。
- ③とりけしボタンを押して止める。
- とりけしボタンを押さなくても、1分後に自動で止まります。



- 3 本体から外し、調理物を取り出す。
(15ページ 手順5参照)



ミキサー機能で作ったものを真空保存しない。
真空ミキサー機能で調理しなさい。

すでに空気が混ざっているため酸化は抑えられません。
また、製品が故障する恐れがあります。

クラッシュアイスの作りかた

- 1 家庭用製氷皿で作った氷(10個まで)を入れたミキサーボトル部を本体にセットし電源を入れる。
(13・14ページ 手順1～3参照)

- ミキサーボトルの水気はよくふき取ってください。

- 2 フラッシュボタンを1回1秒くらいの長さで押し、好みの状態になるまで氷を砕く。





真空保存の使いかた

初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前に本体以外の部品を洗ってからお使いください。(23~26ページ参照)

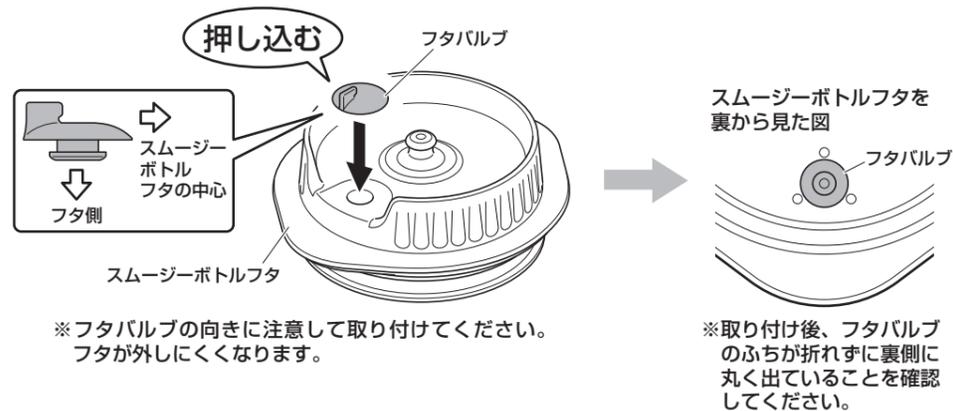
スムージーボトル部の組み立てかた

ご注意

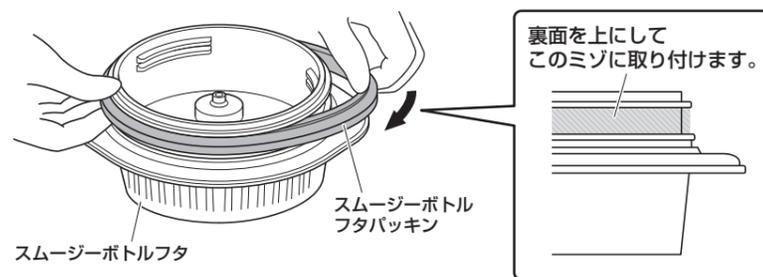
- お手入れをし、水気をよくふき取ってから組み立てる。食材などがはさまっていると、エラーの原因となります。
- フタバルブ・各パッキンを必ず取り付け、各部を正しく組み立てる。故障・エラーの原因となります。
- スムージーボトルとスムージーボトルフタの間にすき間ができないよう、しっかり取り付ける。

1 スムージーボトルフタ部を組み立てる。

①フタバルブをスムージーボトルフタの取り付け穴に押し込んで取り付ける。



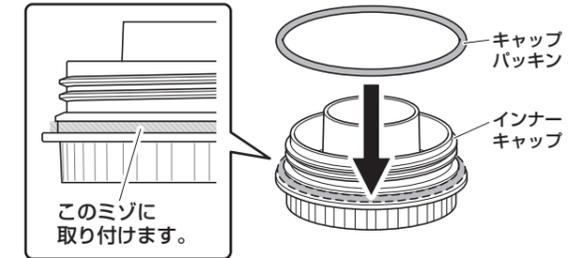
②スムージーボトルフタのミゾにジスムージーボトルフタパッキンを取り付ける。



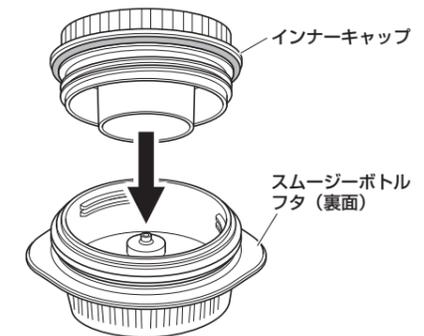
真空保存の使いかた

2 インナーキャップを取り付ける。

①図のように、キャップパッキンをインナーキャップに取り付ける。



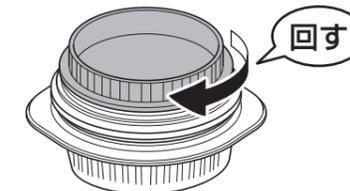
②スムージーボトルフタの中央にインナーキャップをはめる。



③インナーキャップを図の矢印の方向に回して取り付ける。

Point

止まるまでしっかり回す。

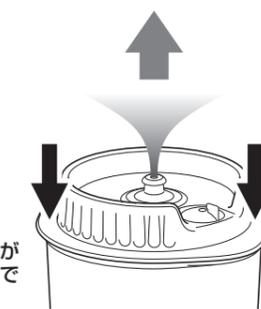


3 スムージーボトルにスムージーなどを入れ、スムージーボトルフタをする。

Point

スムージーボトルフタが斜めにならないよう両端を均等に押す。

※中央の穴からボトル内の空気が抜けるので、穴をふさがらないでください。



真空保存の使いかた

真空保存機能の使いかた

真空ミキサー機能で作ったスムージーなどを保存します。
スムージーボトル内を真空※にして保存するので、新鮮さを保てます。

※滅菌作用はありません。必ず冷蔵庫で保存してください。また、材料の組み合わせによっては、保存中に分離します。

ご注意

- 40℃以上のものを入れない。冷凍庫に入れない。変形・破損の恐れがあります。
- スムージーボトルフタ部を正しく組み立て、しっかりとめする。エラーの原因となります。
- 真空ミキサー機能で作ったもの以外を真空保存しない。故障の原因となります。
- 真空保存機能を使うとき、インナーキャップにスムージーなどが付かないようにする。故障の原因となりますので、下記の点に注意してください。

- ・ 本体にセットするときにスムージーボトルを振ったりかたむけたりしない。
- ・ 一度開けたスムージーボトルの残りを真空保存しないおす場合、インナーキャップにスムージーなどが付いたらフタ部のお手入れをしてから保存する。



1 真空ミキサー機能で作ったスムージーなどを入れ、スムージーボトルフタをする。(17・18ページ参照)

- 泡立たないよう、ゆっくり注いでください。

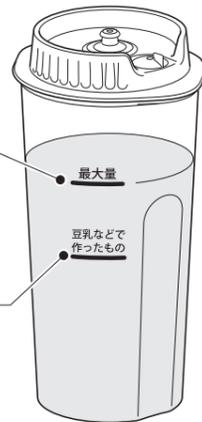
★スムージーボトルの容量

スムージーボトルには、ミキサーボトルで作る1回分の最大量(780ml)まで保存できます。最少量の制限はありません。

※豆乳・牛乳・乳飲料・粉末を溶かした液体を使ったものはボトル内減圧時に泡立つため、最大量(780ml)まで入れないでください。

最大量 (780ml)

豆乳などを使ったものはこの線まで (600ml)



真空保存の使いかた

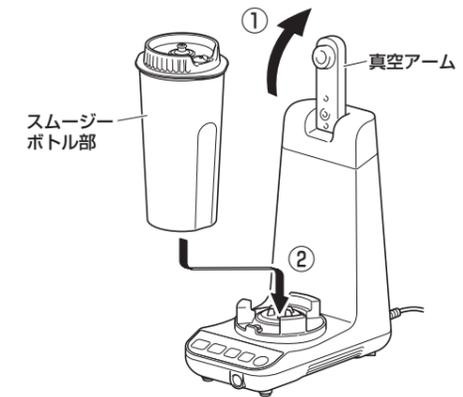
※真空：大気圧より低い圧力の状態。

2 本体にセットする。

- ①真空アームを垂直に立てる。

- ②スムージーボトル部を本体にのせる。

※真空アームにぶつけないよう注意してください。



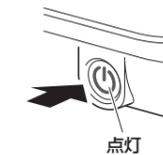
- ③真空アームを下ろし、手のひらでしっかりと押します。

※カチッと音がして真空アームがスムージーボトルフタにセットされます。



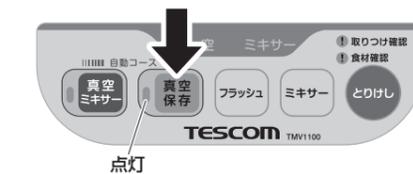
3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源を入れる。

- 「ピッ」と鳴り電源ランプが点灯します。



4 真空保存ボタンを押す。

- 「ピーッ」とくり返し警告音が鳴り途中で停止したときは、27・28ページの手順で対処してください。



※万一中身が泡立ち、泡がスムージーボトルフタに届きそうになったときは、すぐにとりけしボタンを押して真空保存をやめてください。

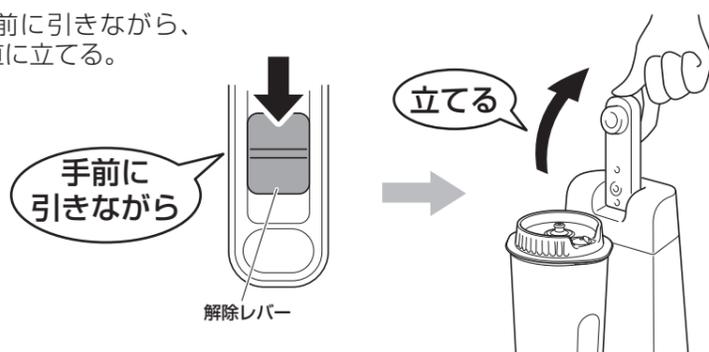
真空保存の使いかた

5 本体から外す。

- ①「ピッピッピッ」と鳴ったら電源ボタンを押して電源を切る。

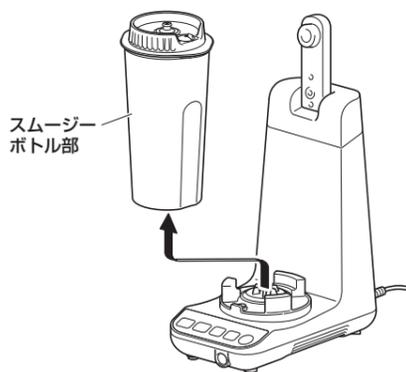


- ②解除レバーを手前に引きながら、真空アームを垂直に立てる。



- ③スムージーボトル部を外す。

※真空アームにぶつけないよう注意してください。



- ④使用後は電源プラグをコンセントから抜く。

6 ボトルを冷蔵庫に入れて保存する。

- スムージーボトルは立てて保存してください。
- 材料の組み合わせによっては、保存中に分離します。

ボトル内は減圧されているため、フタが外れにくくなっています。お飲みになるときは、下記の手順でフタを外してください。

- ①テーブルなどの安定したところに置く。
- ②フタバルブの突起部に指の腹をかけてめくり、スムージーボトルに空気を入れる。
- ③スムージーボトルをしっかりと押さえながらフタを外す。



調理のアドバイス

水を入れずに濃いスムージーが作りたい

カッターの空回りを防ぐために水などの液体が必要ですが、材料から出る水分が十分であれば液体を入れずに調理できます。

●ポイント

- ①やわらかく水分の多い材料（手でつぶしてジュースにできるようなもの）をベースとして使う。
例：かんきつ類・トマト・スイカ・ぶどう・メロン・キウイ
ベースに向かないもの：パイナップル・りんご など
- ②材料の半分以上（重さ）をベースとなる材料にする。
- ③(1)ベースとなる材料⇒(2)葉もの⇒(3)水分の少ない材料⇒(4)氷・冷凍果実などの順でミキサーボトルに入れる。

市販のジュースを水代わりに入れてもいい？

使えます。ただし、乳飲料となっているものは泡立ちやすいため、牛乳・豆乳を使うときと同じ最大量で調理してください。（12ページ参照）

冷凍したくだものを使いたい

2cm角以下の冷凍果実が使えます。（かたまりになって凍っているものは一つずつに分けてください。）必ず水などの液体や他の材料を先に入れ、最後に冷凍果実を入れてください。先に入れると、カッターのまわりに凍り付いてしまい、動作しなくなることがあります。

フローズンスムージーを作りたい

スープは作れる？

ゆでたじゃがいもなどは、調理中にねばりけが出てくるため十分な液体を入れる必要があります。付属のレシピブックの分量を参考にしてください。ねばりが強すぎるとエラーで止まることがありますので、27・28ページの手順で対処してください。

粉末状の材料（ココア・きなこ・粉糖・プロテインなど）を使いたい

真空ミキサー機能で使う場合は、あらかじめ別の容器で液体と混ぜ、完全に溶かしきってから牛乳・豆乳を使うときと同じ最大量で調理してください。（12ページ参照）

※シェイクして混ぜたものは入れないでください。泡が吸引され故障の原因となります。



完全に溶かすのが難しい粉末は、調理後に他の容器に移してから混ぜるか、ミキサー機能（16ページ）を使って調理してください。

真空ミキサー機能では、ダマ・溶け残った粉が減圧中にはじけてボトル内に飛散し、空気と一緒に本体に吸い込まれて故障の原因となります。



お手入れのしかた

必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお手入れをしてください。
お手入れの方法を必ず守ってください。本製品が故障する恐れがあります。

ご注意

- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使わない。
- 化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。
- パッキンなどの紛失に注意する。

お手入れをする前に

汚れがひどいときは、以下の手順で予備洗いをしてください。

1 13・14ページの手順1～3に従い

水またはぬるま湯
(40℃以下) : ボトル1/3程度(約250ml)
台所用中性洗剤 : 数滴

を入れたミキサーボトル部を本体に取り付け、電源を入れる。



2 ①ミキサーボタンを押して数秒間運転させ、②とりけしボタンを押して止める。

●汚れの程度により、運転時間を調整してください。

⚠ 故障の恐れあり
予備洗いの際は、絶対に真空ミキサーボタンを押さない。
故障の原因となります。



3 回転が完全に止まってから電源ボタンを押して電源を切り、ミキサーボトル部を本体から外す。(15ページ参照)

4 電源プラグをコンセントから抜く。

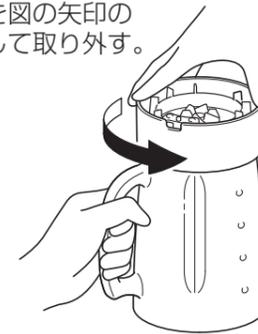
5 フタを外して中の水(ぬるま湯)を捨て、水で軽くすすぎ、各部に分けてお手入れをする。

お手入れのしかた

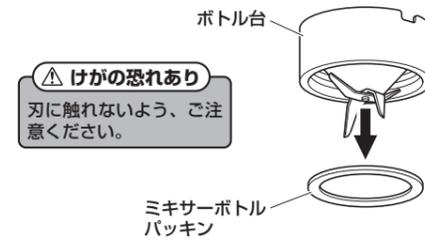
各部の取り外しかた

ミキサーボトル

①ボトル台を図の矢印の方向に回して取り外す。

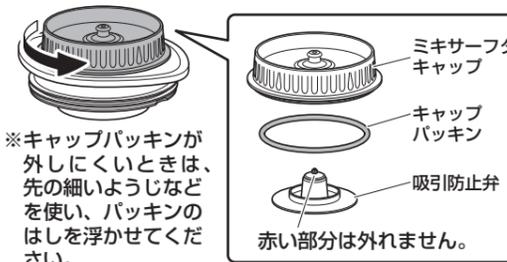


②ボトル台から、ミキサーボトルパッキンを外す。

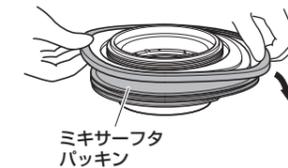


ミキサーフタ部

①ミキサーフタキャップを図の矢印の方向に回して取り外し、それぞれに分ける。

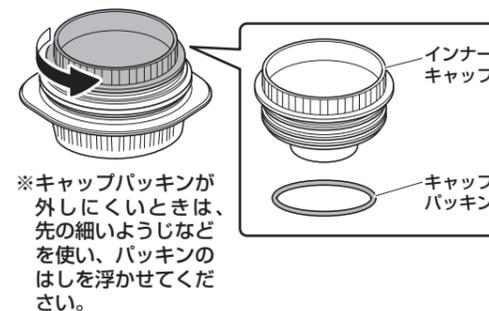


②ミキサーフタパッキンを引っ張りながら外す。



スムージーボトルフタ部

①インナーキャップを図の矢印の方向に回して取り外し、それぞれに分ける。



②スムージーボトルフタパッキンを引っ張りながら外す。



③フタバルブを縁からめくるようにして引き抜く。



お手入れのしかた



食器洗浄機や食器乾燥機は使えません。

本体

「石けん水」または「水で薄めた中性洗剤」に浸したやわらかい布をよく絞ってふき取る。

⚠ 水濡注意

本体は水洗いできないのでぬらさないよう注意する。故障の原因となります。

本体の接続部には洗剤を使わず、よくしぼった布で水ぶきしてください。



ミキサーボトル部

ミキサーボトル・ミキサーボトルパッキン

各部に分けて（24ページ参照）中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。



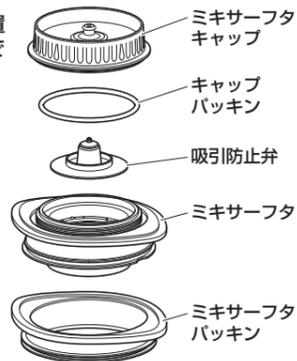
ミキサーボトル

ミキサーボトルパッキン

ミキサーフタ部

各部に分けて（24ページ参照）中性洗剤をつけたスポンジや付属のヘラつきブラシで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

※フタ部はつけ置き洗いしないでください。



ミキサーフタキャップ

キャップパッキン

吸引防止弁

ミキサーフタ

ミキサーフタパッキン

ボトル台

カッターが付いた面を洗うときは、刃に触れないよう中性洗剤をつけたヘラつきブラシで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

ボトル台裏面は「石けん水」または「水で薄めた中性洗剤」に浸したやわらかい布をよく絞ってふき取る。

●安全スイッチピンのまわりもお手入れしてください。



ボトル台

⚠ 水濡注意

ボトル台裏面は水洗いできないのでぬらさないよう注意する。故障の原因となります。



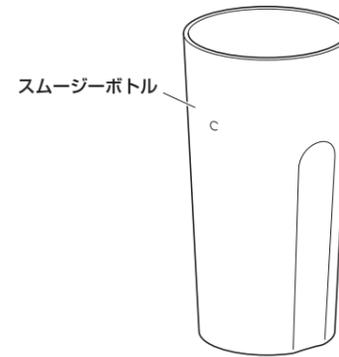
ボトル台裏面に直接水をかけたり、ボトル台のつけ置き洗いをしないでください。内部にさびが発生して故障する恐れがあります。

お手入れのしかた

スムージーボトル部

スムージーボトル

各部に分けて（24ページ参照）中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

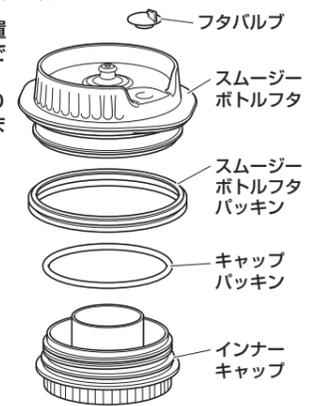


スムージーボトル

スムージーボトルフタ部

各部に分けて（24ページ参照）中性洗剤をつけたスポンジや付属のヘラつきブラシで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

※フタ部はつけ置き洗いしないでください。食材などが入り込んでしまいます。



フタバルブ

スムージーボトルフタ

スムージーボトルフタパッキン

キャップパッキン

インナーキャップ

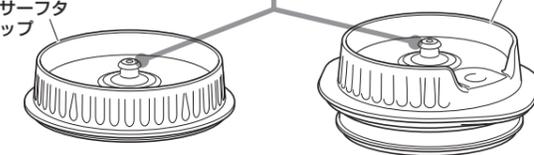
お手入れのあとは....

1 お手入れのあとは水分をふき取り、十分に乾燥させてから各部を組み立てる。

中央の穴に水がたまりやすいので、よく振って水をふいてください。

ミキサーフタキャップ

スムージーボトルフタ



2 ミキサーボトル部を本体にセットし、直射日光の当たらない通気性の良い場所で保管する。

※水分が残っていると、さびやカビが発生する原因となります。

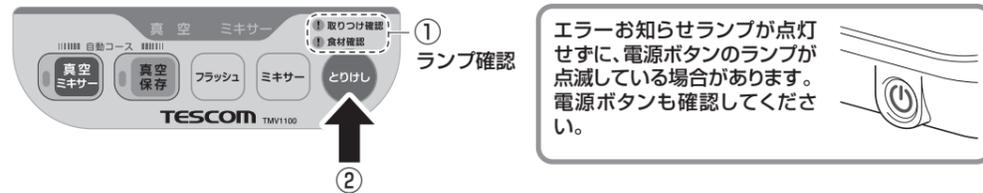




エラーお知らせについて

本製品は、エラーを感知すると「ピーッピーッピーッ」という警告音とランプでお知らせし自動停止します。
ケガ・故障を防ぐため、下記の手順で対処してください。

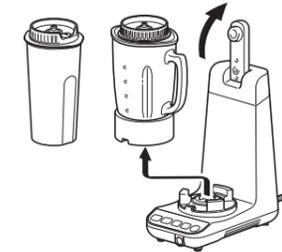
1 ①点灯しているランプを確認し、②とりけしボタンを押してエラーを解除する。



2 電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

エラーお知らせについて

3 各ボトル部を本体から外す。
(15・21 ページ参照)



4 下記の考えられる原因を確認して、原因別に対処する。
※それでも直らないときは、弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。(30ページ参照)

取り付け確認ランプが点灯したときは

各部が正しく取り付けられていないと、取り付け確認ランプが点灯します。

考えられる原因		対処のしかた
真空ミキサー／真空保存ボタンを押してすぐ止まった	真空アームは正しくセットしましたか？	<ul style="list-style-type: none"> 真空アームは、カチッと音がするまで手のひらで押してください。(14・20ページ参照)
ボトル内減圧中に止まった	各ボトルのフタはしっかりとはめられていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 各ボトルとフタの間にすき間ができないよう、しっかりとフタをしてください。 ミキサーボトルの注ぎ口をミキサーボトルフタで完全にふさいでください。(10ページ参照)
	各フタ部は正しく組み立てられていますか？	<ul style="list-style-type: none"> パッキンや部品の取り付け忘れ、間違いが無いか確認してください。(9・10・17・18ページ参照) ミキサーフタキャップ・インナーキャップをしっかりと回して取り付けてください。 (スムージーボトルフタ) 取り付け付けたフタバルブのふちが折れていないか、確認してください。(17ページ参照)
	ミキサーボトルとボトル台は正しく組み立てられていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ミキサーボトルは、しっかりと回してボトル台に取り付けてください。(10ページ参照) 必ずミキサーボトルパッキンを取り付けてください。

食材確認ランプが点灯したときは

モーターに負荷がかかりすぎると、食材確認ランプが点灯します。ミキサーボトルの中身を別の容器に移してから、下記の対処をしてください。



※真空ミキサー機能で調理しなおす場合は、フタのお手入れをしてからお使いください。

考えられる原因		対処のしかた
ボトル内減圧中に止まった	ミキサーフタキャップ内に材料や泡が入っています	<ul style="list-style-type: none"> フタ部のお手入れをして、よく水気をふき取ってください。(25ページ参照) ボトル内の泡を捨ててください。
カッターが回り出してから止まった	材料は多すぎませんか？	●材料を減らし、ミキサーボトルの容量を守ってお使いください。(12ページ参照)
	使えない材料を入れていませんか？	●使えない材料(11ページ参照)を取り除いてください。
	材料が大きい、水分が少ないなど、混ぜにくい状態になっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ●材料を小さく切りなおしてください。 ●水などの液体を足してください。
	カッターに材料がはさまっていませんか？	●ボトル台からミキサーボトルを取り外し(24ページ参照)、さいばしなどでカッターにはさまったものを取り除いてください。

電源ボタンのランプが点滅したときは

モーターの安全装置が働いていますので、30分以上休ませてください。



故障かな?と思ったら

下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社「お客様相談窓口」にご相談ください。(30ページ参照)

こんなときは	考えられる原因	処置の方法
ボタンを押しても動かない。 運転が止まった。 (エラーお知らせランプが点灯している。)		●27・28ページの手順に従って対処してください。 対処してもエラーが出続ける場合は、「お客様相談窓口」にご相談ください。(30ページ参照)
ボタンを押しても動かない。 運転が止まった。 (電源ランプが点滅している。)	●氷がはさまっている。 ●定格時間を超えて運転している。 ●温度上昇により安全装置が働いた。	●はさまった氷を取り除く。 ●30分以上休ませてからご使用ください。
真空ミキサーボタンを押しても動かない。	●フラッシュボタン・ミキサーボタンで攪拌(かくはん)した後に、真空ミキサーボタンを押した。 (保護機能が働いたためです)	●ミキサー機能(16ページ参照)で調理してください。
電源が入らない。	●電源プラグが抜けている。	●電源プラグをコンセントに差し込む。
水がもれる。	●ミキサーボトルとボトル台のしめつけが足りない。 ●パッキングが正しく取り付けられていない。	●確実に止まるまでしめつける。 ●もう一度組み立てなおす。 ●9・10ページ参照。
煙が出る。 コードがねじれて戻らなくなった。		ただちに使用を中止し、「お客様相談窓口」にご相談ください。(30ページ参照)

仕様	品名	真空ミキサー	質量	本体：2.2kg ミキサーボトルとボトル台：約1.5kg スムージーボトル：340g
	品番	TMV1100		
	電源	AC100V 50/60Hz		
	消費電力	290W	寸法	高さ327×幅148×奥行き275 (mm)
	回転数	9500回転/分	コード長さ	1.2m
	定格	ミキサー機能：4分使用・2分休止のくり返し使用で合計8分まで 真空ミキサー機能：4回使用・2分休止のくり返し使用で合計8回まで 真空保存機能：3回使用・3分休止のくり返し		
ボトル容量	ミキサーボトル：最大780ml 最少200ml スムージーボトル：最大780ml			



アフターサービス

1.保証書について ———— 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はお買い上げ販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼される時

- 保証期間中は商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはお買い上げ販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身での分解修理は危険です。(修理には特殊な技術が必要です。)

5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

お買い上げ販売店にお問い合わせください。

- ご転居により、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられない場合は、下記の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

テスコムお客様相談窓口

受付時間：平日 9時～17時

- 部品・修理についてのお問い合わせ



0120-343-122

- 商品・お取り扱い・その他のお問い合わせ



0120-106-018

〒390-1242 長野県松本市和田4217-1 FAX 0263-40-3840

株式会社 **テスコム**

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-5-7